

地域医療

あがの市かわら版

第15号

大好評です!!

新潟大学医学部「健康講座塾」
整形外科シリーズ

6月からあがの市民病院を会場に、新潟大学医学部健康講座塾が始まりました。スタートの整形外科シリーズ、1回目の様子は前回号で紹介しましたが、回を重ねるごとに評判が広がり、申込み開始から1週間を待たずに定員に達し、席を増やしての開催が続いています。7月は103人、8月は106人の出席でした。



遠藤教授による健康講座塾

新潟大学医学部総合研究科整形外科教室の遠藤直人教授を講師にお迎えし、7月26日は、「膝の健康管理」8月30日は、「骨が脆くなつて骨折!」をテーマにご講演いただきました。「わかりやすく、生活の見直しの大切さを学んだ。」「毎日の食事と運動が大事とあらためてわかった。」等の感想が聞かれました。あがの市民病院の理学療法士からの実践指導も毎回好評で、参加者は熱心に体操に取り組んでいました。



理学療法士による体操指導

7月8日(金)、あがの市民病院、脳神経センター阿賀野病院、市内の開業医の医師の方々13人と、行政関係者37人で、阿賀野市保健医療福祉関係等業務打合せ会を開催しました。

医師と行政の意見交換
保健医療福祉関係等業務打合せ

7月8日(金)、あがの市民病院、脳神経センター阿賀野病院、市内の開業医の医師の方々13人と、行政関係者37人で、阿賀野市保健医療福祉関係等業務打合せ会を開催しました。

あがの市民病院からは今年着任された伊藤地域医療・連携センター長を中心に、後方支援病院としての連携推進や退院支援でのシステムづくりに取り組んでいる状況の報告がありました。

その後、意見交換が行われ、こういう場での医師と行政、関係機関同士の顔の見える関係づくりが、普段の連携・情報交換にも大切、という意見がありました。



水原まつり 瓢湖(ひょうこ)の花火

発行: 阿賀野市 民生部 地域医療推進課
平成28年8月31日
TEL 0250-61-2503 (直通)
FAX 0250-62-0281
E-mail: chiikiiry@city.agano.niigata.jp

その人らしい最期を迎えるために
7月25日 阿賀野市多職種連携研修会

平成26年度から開催し、7回目となる多職種連携研修会。今回は、「看取りと多職種連携」をテーマに開催され、阿賀野市内の開業医、病院医師、歯科医師、薬剤師、看護師、訪問看護、ケアマネージャー、ヘルパー、特養職員など、158名が参加しました。

とれる窓口を持つ、一人暮らしができる条件を地域に整える、だけれどもがいつでも立ち寄れる地域のプラットフォームづくりも大切」等の助言がありました。参加者からは、様々な職種の思いや課題を共有する機会となったという声が聞かれ、連携を考える貴重な機会となりました。

立正大学社会福祉学部講師の川本健太郎氏による講義の後、21班に分かれてグループワークを行い、看取りと多職種連携について課題となったことについて意見交換を行いました。各地の地域福祉計画に関わってこられた川本氏からは、「どこにいても穏やかな最期を迎えられるために、医療とのコミュニケーションが



川本氏の講義



熱心に意見交換する参加者



2016/07/26 20:11